

平成28年度事業報告

生活介護事業所 さくら [咲 笑]

1. さくら<咲笑>として大事にしていくこと

① 利用者主体

一人ひとりの想いを尊重した活動を支援します

② 安全、安心の提供

清潔、安全な環境づくりを常に心掛けます

安心感を抱き、笑顔の絶えない日常を支援します

③ 人とのつながりの中で

地域の活動を通し、施設として個人として人とのつながりを深めていくなかで充実した時間を支援します

職員の姿勢として大事にしていくこと

① 1日は挨拶ではじまり、挨拶で終わります。笑顔を絶やすことなく気持ちのよい挨拶を心掛けます。

② サービスを担う者として相応しい『言葉遣い』や『態度』を意識します。

③ 何事にも精一杯・丁寧に取り組み真摯な態度で向き合います

④ 常に成長できる職員集団をめざします

3. 平成28年度の取り組み

生活介護事業所『咲笑』は平成27年6月に開所しました。現在、5名の利用者が活動を行っています。個々にあわせた仕事、補助具、職場環境などを準備しなにかが得意なのか、どんなことが好きなのかという視点で利用者をよく観察し、それらの情報をもとに自閉症の特性がどのような形であらわれているのかを認識し、課題やルール、作業、余暇活動を組み立てました。

<咲笑活動報告>

① 生産活動

クッキーの生産及び販売を行いました。わかりやすさのなかで商品の味、形の開発に取り組み、あらたに数種類のクッキーを製作することができました。今年度よりクッキー製作に必要な材料の仕入れを利用者とともにやり、仕入れからラッピングまですべてに関われるよう取り組みました。アクセサリーの販売に関しては定期的に取り組むことができず、単発的に行うだけとなりました。

②創作活動

昨年に引き続き紙芝居の完成を目指しましたが、完成には至りませんでした。準備不足が多々あり、取組みができないこともありました。個別のワークシステムの確立を目指し、さらなる視覚的明瞭化・構造化が必要と思われまます。

③趣味活動

調理活動・ダンスプログラムにおいては、全員がそろって行うプログラムであり、楽しみながら取り組むことができました。今年度より取り入れたダンスプログラムは、講師を招き音楽にあわせて身体を動かしたり合唱するなど、運動と楽しみをとりいれています。それぞれ同じ時間を楽しみながら共有できました。このダンスプログラムで練習してきたダンスを地域の行事で披露しました。

④日常生活上の業務への取り組み

スケジュールの中に掃除・整理・買い物等を組み入れ、ソーシャルなスキルの獲得を目指した。

4. 施設運営管理

利用定員 生活介護事業所（みどり教室の従たる事業所） 6名

5. 防災及び研修関係

みどり教室（主たる事業所）と一体的な運営として実施

6. 健康衛生管理

みどり教室（主たる事業所）と一体的な運営として実施

7. 工賃

みどり教室（主たる事業所）と一体的な運営として実施

8. 行事

みどり教室（主たる事業所）と一体的な運営として実施

9. その他

*ひやりはっと及び事故報告

みどり教室（主たる事業所）と一体的な運営として実施

*給食

みどり教室（主たる事業所）と一体的な運営として実施